



India Weekly

2020年8月17日



(対象期間：2020/8/10～2020/8/14)

【株式市場】SENSEX指数の推移 (2016年1月1日～2020年8月14日)

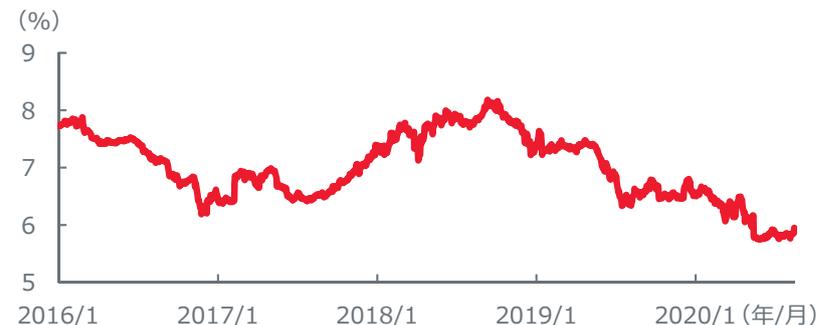


【株式市場】

週初は、政府が国内生産を促すため防衛関連の約100品目を輸入禁止とすると発表したことから防衛関連の株式が買われ、インド株式市場は上昇しました。11日も外国人投資家の資金流入を背景に続伸しました。12日は米中対立への警戒感などからアジア株式市場が軟調となる中でインド株式市場も小幅に下落し、13日も小幅続落となりました。14日は日中は買い優勢でしたが、欧州市場の下落を受けて引けにかけて売りが膨らみ、週間でも下落となりました。

2020/8/7	2020/8/14	変化率
38,040.57	37,877.34	-0.43%

【債券市場】インド本国通貨建て10年国債利回りの推移 (2016年1月1日～2020年8月14日)



【債券市場】

前週末の国債入札で需要の弱さが見られたことなどを背景に、週初から低調な投資家心理が続きインド10年国債利回りは上昇（価格は下落）しました。12日はインド準備銀行（中央銀行、RBI）による債券市場支援策への期待から利回りは低下しました。13日は取引時間終了後に発表される消費者物価指数（CPI）への警戒感から再び利回り上昇となり、CPIが市場予想を上回ったため14日は利回りが一段と上昇し、週間でも利回りは上昇しました。

2020/8/7	2020/8/14	変化幅
5.839	5.950	+0.111

【為替市場】インドルピーの対円レートの推移 (2016年1月1日～2020年8月14日)



【為替市場】

6月のインドの鋳工業生産が引き続き前年同月比で二桁のマイナスとなったことなどがルピーの重石となる一方、インド株式市場への外国人投資家の資金流入が支援材料となって、小幅ながらもルピーは対米ドルで上昇しました。円が対米ドルで下落したことから、対円でも上昇しました。

2020/8/7	2020/8/14	変化率
1.410	1.424	+1.01%

出所：グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

<当資料に関してご留意いただきたい事項> ※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。※当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式について組入の保証や売買の推奨をするものではありません。※当社による事前の書面による同意無く、当資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャルグループ

英国ブルーデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルーデンシャル・ファイナンシャル社、および英国のM&G社の子会社であるブルーデンシャル・アシュアランス社とは関係がありません。